



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた海外代表チーム等のキャンプ誘致活動の結果、県内3市で5競技のキャンプが9回実施され、4団体と事前キャンプに関する協定書を締結した。参加チームからは受入体制を高く評価されたほか、トップレベルの選手との交流を通じて、スポーツ振興を図ることができた。
②	・プロスポーツチームと学校との交流事業での訪問先や子ども達から「プロ選手との交流は大変貴重な機会となった。」「とても楽しかった。スポーツが好きになりました。試合の応援に行きたい。」といった感想が寄せられるなど、スポーツに親しむ機運の醸成が図られた。
③	・ラグビーワールドカップ2019の機運醸成を図るイベントを「One Rugby, One Oita大作戦」として実施した結果、約17万3千人の国内外観戦客等がファンゾーンなどで心からラグビーを楽しみ、大盛況のうちに大分開催を終えることができた。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	国際スポーツ大会誘致推進事業	112.5	314
	聖火リレー準備事業	—	314
②	おおいたスポーツ成長産業化モデル事業	83.8	314
	スポーツによる地域の元気づくり事業	250.2	314
③	ラグビーワールドカップ開催事業	100.5	315

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第2回発展部会(R1. 6)  
 ・スポーツを通じたまちづくりは郷土愛、生きがいの創出にもつながるため、引き続き機運醸成を進めていただきたい。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの受入のため、協定を締結した県内市町村や競技団体と連携し、受入体制を整備する。</li> <li>・より多くの県民のスポーツに親しむ機運を醸成するため、プロスポーツチームによる小学校や総合型地域スポーツクラブ、医療施設等への訪問や試合への招待を行う。</li> <li>・ラグビーワールドカップ2019大分開催の成果を一過性のものとせず、着実に引き継いでいくことが必要であり、ラグビーの魅力と感動の共有、グローバル人材の育成、海外誘客(インバウンド)の多角化、海外との継続的な交流を推進する。</li> </ul>